

青少年育成事業



11月19日・25日・26日の3日間の日程で「くまもと城下町インターナショナルキッズガイドツアー～僕らは国際親善大使～」を開催いたしました。
この事業は、「国際の機会」を通じて、熊本の将来を担う子供たちの「生きる力」を育み、郷土をより好きになってもらうことを目的として実施しました。熊本大学の留学生をはじめとする外国人の方々にご協力をいただき、「ほくらは日本語が話せない外国人の方に熊本のまちを〇〇なツアーガイドでおもてなします」というテーマのもと、子供たち自身がガイドの方法を考えました。ガイド本番では、日本語がまだあまりわからない留学生の方々へ外国人観光客の役を務めていただき、覚えた英語を使う他、ジェスチャーや絵などグループごとに工夫を凝らした方法で熊本の文化・歴史・自然・人・地域の素晴らしさを伝えました。参加した子供たちは、この事業を通じて、人と人との繋がりやコミュニケーションの大切さを発見するとともに、郷土愛を培うことができました。

大西熊本市長ローカルマニフェスト公開検証会



11月21日(火)19:00よりエルセルモ熊本にて、大西熊本市長ローカルマニフェスト公開検証会を開催いたしました。大西市長市政3年目の進捗状況を知るために、大西市長が選挙時に掲げた政策130項目の中から当会議所において選定した42項目について、検証報告と提言を行いました。また、コーディネーターには前市長でもいらっしゃる幸山政史氏をお迎えし、当会議所の歴代理事長であり長年にわたってこの検証会に携わってこられた古橋徹先輩(40代)、当会議所「まちづくり委員会」委員長である松本力君(30代)、若年投票率の向上に取り組まれているNPO法人ドットジェイビー熊本支部に所属されていた長野大伴氏(20代)に各年代の代表としてコメンテーターを務めていただき、パネリスカッションにおいて市政についての質問や意見を交わしました。後半は、マニフェストを作るにあたり大西市長の考えるビジョンについて話題を広げ、熊本の今後について話し合いました。



第51回熊本県立盲学校生徒招待アイススケート



12月18日(月)9:00よりサンリススポーツバレースパにて、第51回熊本県立盲学校生徒招待アイススケート事業を開催いたしました。50年の長きにわたって続いてきた本事業は、100回目に向けて改めてスタートを切りました。子供たちにはメンバーとともに協力し合い、氷上に立ち、自らの足で滑り、達成感を感じてもらうことができました。

各種大会

2017年度 京都会議



1月19日(木)～1月22日(日)
国立京都国際会館など

本年度のテーマは「日本道」。「世のため人のため」は「自分のため」であり「未来への投資」である。「誰もが夢を描ける日本への帰帰」に向けたスタートダッシュを切るために、教育再生及び経済再生をテーマとするメインフォーラムの他、様々なフォーラム等に出席しました。また、7月開催の「第30回国際アカデミーin熊本」のPRを行いました。

第36回全国城下町シンポジウム福井大会



5月26日(金)～28日(日)
AOSSA 県民ホールなど

当会議所の姉妹JCである公益社団法人福井青年会議所は、2014年度に私たちが主管した「第33回全国城下町シンポジウム」では副主幹を務めていただき、熊本地震の際も大きな支援を頂くなど、長く深い繋がりと思義のある青年会議所です。約70名のメンバーで福井の地に赴き、各ファンクションに参加した他、大交流会にクイズラリーのブースを出展し、熊本と福井の歴史や繋がりについて福井市民の方々にお伝えしました。

第50回熊本ブロック大会in東熊本



6月3日(土)～4日(日)
大津町生涯学習センターなど

大会テーマは「道標～希望に溢れる熊本の未来のために」。本年度の主管LOMである東熊本青年会議所の活動エリアである合志市・菊陽町・大津町・西原村の各首長及び熊本県副知事をパネリストにお迎えしての地域創生に関するメインフォーラムの他、様々な分科会が開催されました。

2017 JCI ASPAC ウランバトル大会



6月8日(木)～11日(日)
モンゴルウランバトル

本年度の開催地はモンゴルのウランバトル。10日に開催されたジャパンナイトには、熊本地震の際に受けたご支援への感謝を伝えるとともに、復興に向けて歩む姿を知っていただくために、起き上がりくまモンを手作りし、お持ち帰りいただくブースを出展し、大盛況でした。

サマーコンファレンス2017



7月22日(土)～23日(日)
バシフィコ横浜など

日本を変えるのはオレたちだ!!をテーマに、教育再生・経済再生・民間外交・地域再興に関する20のフォーラム・セミナーが開催され、多くの学びを得ることができました。22日には姉妹JCである公益社団法人福井青年会議所との合同LOMナイトを開催し、更なる友情を深めることができました。

九州コンファレンス2017 in 久留米



8月25日(金)～27日(日)
久留米シティプラザなど

各界著名人を講師に迎え、経済再生・教育再生・子育てなどをテーマとした各種フォーラム、プログラムが行われ、同時開催での久留米フェスティバルでは、スペシャルライブや九州の食を集めたブース出展もあり、大盛況でした。

第66回全国大会埼玉中央大会



9月28日～10月1日
埼玉スーパーアリーナなど

青木会頭より、大会テーマ『運命共同体』のとおりに、私たちは日本という同じ船に乗った『運命共同体』であり、一期一会の覚悟をもって日本の運命に挑み続けようとのメッセージが発信されました。卒業生を送り出す式典には当会議所から8名の卒業生が出席し、その後もLOMナイトにおいて卒業をお祝いました。

2017 JCI世界会議 アムステルダム大会



11月6日～10日
オランダアムステルダム

本年度の開催地はオランダのアムステルダム。ジャパンナイトでは、世界各地から集まった参加者に40ピースのバスルにチャレンジしてもらい、ゲーム感覚で楽しみながら日本そして熊本を知ってもらうブースを出展しました。

新入会者募集

熊本青年会議所は、「明るく豊かな社会」の実現を理想に掲げ、時代の担い手たる責任感を持った20歳から40歳までの青年経済人が、郷土熊本の未来のために活動する団体です。私たちは、熊本市及びその周辺地域に居住または勤務される方の入会を常にお待ちしております。

一般社団法人
熊本青年会議所
〒860-8565
熊本市中央区城東町4-2
(熊本ホテルキャッスル内)
TEL:096-352-6655



2017年度 年間活動報告書

JCI Junior Chamber International Kumamoto
一般社団法人 熊本青年会議所



2017年度 第63代理事長 田中 敦朗

平成28年熊本地震からの復興元年である2017年度、多くの方々のご支援と、未だ復興の只中であり多岐であるにも拘らず「まちづくり」のために尽力するメンバーのお陰で、一年間を全うすることができました。本当にありがとうございました。
本年も、明るく豊かな社会の実現のために多くの事業に取り組みましたが、さらに「国際」というテーマの下で様々な挑戦をいたしました。長年の誘致活動が実った「第30回国際アカデミーin熊本」には、79の国と地域から参加者が集い、国内からの92名の参加者と大きく自己成長を遂げるとともに、私たちの郷土熊本の魅力を存分に堪能していただきました。その他、世界各地で行われる会議での熊本の魅力発信や、留学生と共に行う青少年育成事業など、単年度制ならではの特色ある活動を行い、今後に繋がる運動の端を開くことができたと考えております。これからも熊本青年会議所の活動・運動にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【2017年度スローガン】
愛を持って実現しよう 郷土を誇り 進取の精神を持った青年がつくる 明るく優しい熊本
【2017年度基本理念】



第30回 国際アカデミーin熊本

国際アカデミーとは、各国の青年会議所の代表(翌年トップになる予定の人)が日本に集まり、国際レベルで活躍するリーダーとなるためのトレーニングであり、議論を交わし共に試練を乗り越えることで、世界中の「明日のリーダー」同士が友情を深め、「自分の地域や国」に留まらない発展や世界平和を確立することを目的として毎年日本国内で開催されております。

開催地エクスカージョン



熊本が誇る観光資源としての熊本城を見学していただきました。その後、リバーサイドホテル熊本に移動して「草枕」国際俳句大会実行委員会の副会長でもいらつしやる西川盛雄先生にご講演をいただき、日本独自の文化である俳句の世界に触れるとともに、日本特有の「侘び・寂び」の精神を感じていただきました。

ホームステイプログラム



海外デリゲイツの皆様が熊本の家庭においてホームステイを体験し、海外デリゲイツと熊本市民の方々とが双方向でのコミュニケーションと相互理解を行う機会を創出しました。多くのご応募をいただき、77世帯において2泊3日のホームステイが実施されました。

熊本五感体験プログラム



阿蘇山へのバスツアーを行い、「平成28年熊本地震」で甚大な被害を受けた阿蘇神社と阿蘇地域を訪問しました。また、門前町商店街では阿蘇の湧き水をペットボトルに飲み取っていただき、熊本が世界に誇る水資源にも触れていただきました。その後、阿蘇火山博物館・阿蘇山ロープウェーを訪れ、阿蘇の歴史と自然を体感していただくことができました。

理事長招待レセプション



夜の熊本城をご覧いただきながら、少女舞踊団「サ・わらべ」の演舞や津軽三味線奏者 高崎裕士氏の演奏により日本(熊本)の文化に触れていただき、郷土料理を楽しんでいただくレセプションパーティを開催し、LOMメンバーも海外デリゲイツの皆様と懇親を深めることができました。

ウェルカムパーティ



オープニングには、熊本の郷土芸能である「菊陽武蔵剣豪太鼓」の方々に和太鼓の演奏をご披露いただき、その後は、握り寿司ブース、日本酒の地酒コーナー、書道体験ブース等において、日本の文化や食を感じていただくとともに、参加者どうしの交流を深めていただきました。

フェアウェルパーティ



第1部では、海外のデリゲイツとホストファミリーが再開して別れを惜しみ、サプライズで登場したくまモンと一緒にくまモンダンスを踊りました。第2部では、一週間苦楽を共にした海外・国内デリゲイツが最後の交流をし、最後は全員が輪になって「We Are The World」を合唱して、世界との友情と相互理解を実感するファイナルとなりました。

学校訪問プログラム



尾ノ上・山ノ内・月出の3つの小学校にご協力をいただき、各校において、海外デリゲイツと小学生とが交流し、互いの文化や精神性を知り、相互理解を深めるプログラムを実施しました。世界各国の人々と触れあった子どもたちは、国際交流や日本とは異なる文化に興味を持ってくれたことと思います。

食文化体験プログラム



桜の馬場城彩苑を会場として、日本の夏の風物詩である「夜市」を疑似体験いただきました。海外デリゲイツの皆様は浴衣を着用され、国内デリゲイツの皆様とともに熊本の郷土料理を楽しんだり、射的などの遊びに興じて、日本の情緒を感じていただけたことと思います。

通訳ボランティア事業



熊本県同時通訳者協会の代表でもいらつしやる最相博子先生をはじめとする延べ186名にわたる方々に通訳ボランティアとしてご協力をいただき、海外デリゲイツと国内デリゲイツがコミュニケーションをとるお手伝いをいただきました。積極的に国際交流に取り組みされる方々と接することで、改めて「国際交流」の必要性や楽しさを感じる機会となりました。

新年パーティ・例会・総会

新年パーティ



1月11日(水)
熊本ホテルキャッスル2階キャッスルホール
日頃よりご支援、ご協力を頂いております皆様をお招きし新年パーティを開催いたしました。昨年度の御礼とともに、本年度「萬有愛護～感謝を基盤に全てに臨め～」のスローガンのもとメンバー一丸となって、熊本の明るい豊かな未来のための活動方針をお伝えいたしました。

2月例会～繋げよう未来～



2月15日(水)
熊本市国際交流会館6階・7階ホール
2004年度に公益社団法人ひびき青年会議所第33代理事長を務められた藤木智先輩をお招きし、東日本大震災の際、災害復旧活動に携わりながら全国で会員拡大のご講演をされたご自身の経験から、私たち熊本青年会議所が被災地LOMとして熊本の未来の為に何をすべきか、そのためにはいかに会員拡大が重要かを話させていただきました。

5月例会～今こそ結束力を～



5月24日(水)
熊本市東部交流センター
メンバー同士の結びつきを深めるべく、各グループに分かれて大縄跳び・綱引き・五人六脚・玉入れ・リレーの五種目で競い合いました。結果は第1期新入会者・第2期仮入会者合同チームの優勝。気持ちのよい汗を流すことができ、メンバー同士の団結力を更に深めることができました。

1月例会～方向性を一にしよう～



1月23日(月)
シアーズホーム夢ホール大会講堂
NPO法人合気道祥平塾理事長兼道場長の菅沼守人先生をお招きし、合気道の演武の実演と田中理事長との対談をいたしました。合気道における萬有愛護の精神や感謝についてご講演頂き、萬有愛護の本旨について学び、2017年度熊本青年会議所の「方向性を一に」することが出来ました。

3月例会～進取の精神が創る、愛する郷土くまもと～



3月15日(水)
ザ・スタイル・オブ・エクセレント
公益社団法人日本青年会議所の歴代会頭であり、一般財団法人沖繩公共政策研究所理事長であります安里繁信先輩を講師にお迎えし、「まちづくり」のためにこれまで行ってこられた様々な挑戦や、数々の困難をどのように乗り越えてこられたのかといったお話を伺いました。メンバー一同、今後の「まちづくり」への意欲を新たにすることができました。

6月例会～第30回国際アカデミーin熊本を成功させるのはオレたちだ!!～



6月21日(水)
菊南温泉ウベルホテル
「第30回国際アカデミーin熊本」の開催を目前に控えたこの時期、いわば決起集会として、公益社団法人日本青年会議所の国際アカデミー委員の皆様にもオブザーブいただき、実施予定の事業について改めて情報を共有し、思いをつづつするために開催しました。国際アカデミーの誘致に尽力された先輩方にもご講演をいただき、国際アカデミーの開催意義を再確認するとともに、開催に向けた機運を高めることができました。

2月定時総会



2月7日(火)
くまもと県民交流館バレア バレアホール
法人法上の最高意思決定機関である本総会では、昨年度の活動及び決算の報告、そして本年度の活動予定や組織、予算案の上程があり、いずれもメンバーの承認を得ました。また、平成28年熊本地震の後、全国から寄せられた支援金の収支について報告が行われるとともに、今後、熊本青年会議所が取り組むべき復興活動の方向性を共有しました。

4月例会～現状からみえる課題～



4月19日(水)
熊本市国際交流会館6階・7階ホール
平成28年熊本地震の発災当初から現在に至るまで支援活動を継続されている「もやいハウス」代表の前原土武氏をパネリストとしてお迎えし、パネルディスカッションを行いました。その後、委員会ごとに、復興支援における今後の課題と取り組み方について話し合い、発表しました。発災から1年で経過し、「被災地」や「被災者」のあり方が変容する中で、その現状を知り、今後私たちが取り組むべき支援について考える機会となりました。

7月例会～大切な人と共に学ぼう～



7月19日(水)
鶴屋百貨店本館七階屋外
メンバーの家族や身近な方々にもご参加いただき、災害時にとるべき対応を学ぶクロスロードゲームを行いました。問題を受けて自分の考えをYES/NOで答えたり、他の参加者の回答、考えを聞いたりしながら、災害時の対応をシミュレーションし、有事への備えや初動について、改めて学ぶことができました。

8月例会～知って繋がるまちづくり～



8月24日(木)
熊本市立図書館ホール
熊本市内の5区より、長田端高志区長(東区)、長白石三千治区長(西区)、長松石龍太郎区長(南区)、長野口恭子区長(北区)、横山健一区民部長(中央区)、石櫃仁美区長(代理)をお招きし、パネルディスカッションを通じて、各区のビジョンや魅力、課題を知るとともに、私たちが「まちづくり」を行う上では区との繋がりを深めることが重要であると実感することができました。

10月例会～復興のその先へ～



10月18日(水)
熊本市男女共同参画センターはあもにい
一般社団法人高萩青年会議所のシニア監事であつしやる上野應先輩を講師にお招きし、東日本大震災から6年が経過した現在における被災地の状況、そしてこの大災害をどのように乗り越えてこられたのかをお話いただきました。その後、株式会社肥後銀行 執行役員熊本健康ブロック統括店長・健康支店長であつしやる上田一精様より、熊本地震の影響で地域経済がどのように変化したのか及び今後の推移についてご講演をいただきました。

8月例会～知って繋がるまちづくり～



8月24日(木)
熊本市立図書館ホール
熊本市内の5区より、長田端高志区長(東区)、長白石三千治区長(西区)、長松石龍太郎区長(南区)、長野口恭子区長(北区)、横山健一区民部長(中央区)、石櫃仁美区長(代理)をお招きし、パネルディスカッションを通じて、各区のビジョンや魅力、課題を知るとともに、私たちが「まちづくり」を行う上では区との繋がりを深めることが重要であると実感することができました。

10月例会～復興のその先へ～



10月18日(水)
熊本市男女共同参画センターはあもにい
一般社団法人高萩青年会議所のシニア監事であつしやる上野應先輩を講師にお招きし、東日本大震災から6年が経過した現在における被災地の状況、そしてこの大災害をどのように乗り越えてこられたのかをお話いただきました。その後、株式会社肥後銀行 執行役員熊本健康ブロック統括店長・健康支店長であつしやる上田一精様より、熊本地震の影響で地域経済がどのように変化したのか及び今後の推移についてご講演をいただきました。

9月定時総会



9月20日
ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
9月定時総会では、本年度の「委員会事業中間報告」及び「一般会計中間報告及び監査報告」が審議可決された後、次年度の「役員選任(案)」の審議が行われ、2018年度理事長予定者三角研次君をはじめとする次年度役員が承認されました。そのまま会場において「9月例会～未来への架け橋～」を開催し、三角理事長予定者が60年以上にわたって連続と引き継がれてきた熊本青年会議所の伝統を承継し、未来へ繋いでいく熱い思いを語られました。

11月例会～己の活動に誇りをもって～



11月22日(水)
熊本県立劇場大会議室
委員会ごとのディスカッションの形式で、本年度における活動を振り返りながら、私たちの活動が地域に与えた影響や青年会議所活動の意義について話し合い、発表しました。1年間の活動を通じて得たものをそれぞれに認識するとともに、今後の青年会議所活動への情熱と誇りを改めて実感し、思いを共有することができました。

11月例会～己の活動に誇りをもって～



11月22日(水)
熊本県立劇場大会議室
委員会ごとのディスカッションの形式で、本年度における活動を振り返りながら、私たちの活動が地域に与えた影響や青年会議所活動の意義について話し合い、発表しました。1年間の活動を通じて得たものをそれぞれに認識するとともに、今後の青年会議所活動への情熱と誇りを改めて実感し、思いを共有することができました。

12月例会～羽ばたく20の愛に感謝～



12月10日(日)
ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
この例会において、2017年度中敦朗理事長から2018年度三角研次理事長予定者へとプレジデンシャルリースが伝達されました。そして本年度は、20名の仲間が卒業を迎えられました。「まちづくり」への思いを持って青年会議所活動に尽力され、長きにわたる伝統を紡いでこられた卒業生の皆様より、その思いをお伝えいただき、次年度以降も在籍するメンバー全員でその思いを受け止め、感謝と愛を込めて卒業生の皆様を送り出しました。

9月例会～未来への架け橋～



9月20日
ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
9月定時総会では、本年度の「委員会事業中間報告」及び「一般会計中間報告及び監査報告」が審議可決された後、次年度の「役員選任(案)」の審議が行われ、2018年度理事長予定者三角研次君をはじめとする次年度役員が承認されました。そのまま会場において「9月例会～未来への架け橋～」を開催し、三角理事長予定者が60年以上にわたって連続と引き継がれてきた熊本青年会議所の伝統を承継し、未来へ繋いでいく熱い思いを語られました。

12月例会～羽ばたく20の愛に感謝～



12月10日(日)
ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
この例会において、2017年度中敦朗理事長から2018年度三角研次理事長予定者へとプレジデンシャルリースが伝達されました。そして本年度は、20名の仲間が卒業を迎えられました。「まちづくり」への思いを持って青年会議所活動に尽力され、長きにわたる伝統を紡いでこられた卒業生の皆様より、その思いをお伝えいただき、次年度以降も在籍するメンバー全員でその思いを受け止め、感謝と愛を込めて卒業生の皆様を送り出しました。

仮入会者オリエンテーション

本年度は41名の新しい仲間を迎えることができました。仮入会期間は各3回にわたる「仮入会者オリエンテーション」において青年会議所について学び、正式入会後にはそれぞれ「新入会者事業」を開催しました。

第一期



第二期



第三期

